

# 環境先進都市づくり構想

## ～木造耐火建築によるアプローチ～

### 第2回次世代木質建築推進山形協議会【議事概要】

日 時:平成22年9月8日(水) 10:00～11:30

場 所:放送大学 山形学習センター講義室(霞城セントラル10階)

参 集 者:柴田洋雄 会長(美しい山形・最上川フォーラム 会長)、清野伸昭 副会長[欠席](山形県中小企業団体中央会 副会長)、(50音順)秋葉秀出男 委員(山形県総務部 総合政策局長)、加藤勝美 委員(山形県森林組合連合会 代表理事 専務)、木村一義 委員[代理:安達広幸氏](大規模木造耐火建築 発明者)、桑嶋誠一 委員[欠席](山形新聞社 論説 委員長)、酒井定幸 委員(山形市農林部次長 兼 森林整備課長)、日原もとこ 委員(東北芸術工科大学 名誉教授)、本間義衛 委員(美しい山形・最上川フォーラム 最上川文化・地域経済活性化部会長)、前内永敏 委員(国土交通省 山形河川国道事務所長)、吉田勉 委員[欠席](山形銀行 常務取締役)

事 務 局:伊藤憲昭(美しい山形・最上川フォーラム 事務局長)、上野勝子(美しい山形・最上川フォーラム 事務局)

関係機関:(50音順)石黒涼子(山形県総務部 総合政策局政策企画課 主事)、庄司祐子(山形県生活環境部 生活文化課 県民 活動推進室主査)、関口典之(国土交通省 山形河川国道事務所調査第一課 専門調査員)

関 係 者:亀井英朗(株式会社シェルター 建築事業部営業部 チーフ)、渡邊陽子(美しい山形・最上川フォーラム 事務局)

#### 【事務局】

第1回協議会の課題等について資料に沿って説明。

1. 木材価格が下落、森林整備が進まない。木材需要、住宅着工戸数も減少。
2. 欧米で木材生産量の増加傾向が顕著。ドイツでは林業、木材関連産業が最大の雇用を抱える。州政府が私有林を含め、森林を一元管理。
3. 森林は、水源涵養、景観、レクリエーションなど多岐にわたる機能を有する。今後はCO2排出権取引などでの活用も。
4. 国土交通省では耐久性、耐火性木造建築物に補助金の支給を決定。
5. 以上を踏まえ、第2回は街づくりについて検討したい。

#### 【委員】

やまがた緑環境税、やまがた絆の森について資料に沿って説明。

1. 県民の皆様からいただいている今年度の緑環境税の税収は6億6千万円ほど。19年度から始まり、今年度で4年目を迎える。荒れている森林の整備や県民の意識啓発などに利用。
2. NPO法人、地域の方などの活動に事業費を補助。
3. 企業の皆様の参画により絆の森を各地区に展開。

#### 【委員】

- ・緑環境税の計画は5年毎に見直すことになっている。見直しの時にこの委員会から具体的な提言ができればいいと思う。
- ・林業については境界や後継者問題など抱え、この会議の森を元気にするというテーマは非常にニーズが高い。
- ・放送大学の研修旅行で金山町に行ってきた。特に名所もないが、学生からは好評だった。名所だけでなく、木造の住宅の町並みや人々の暮らしぶりというのも観光資源になると実感した。
- ・街づくりが観光資源になり、地元の雇用を創出する。林業や街づくりは観光産業という新しい地域の産業のバックアップになるのではないかと。ただし、観光といっても大手旅行会社だけがやるのではなく、幅広く地元の人が携わるのでなければ本物の観光にはならないと思う。人口1万人以下の金山町に木造住宅の棟梁が70人。木造は改築できるので需要がある。長く利用することで伝統や文化が生まれる。職人は一生職人ではなく、その中から芸術家(人間国宝など)が生まれるような環境づくりが必要。それを支持する住民の意識が重要。

#### 【事務局】

- ・今後この協議会で議論された内容を集約しレポートを作成し、活用用途についても皆さんの意見を伺いつつ進めていきたい。

#### 【委員】

- ・御殿堰や紅の蔵の成功について行政の視点からご意見を伺いたい。

#### 【委員】

- ・御殿堰や紅の蔵を線として結ぶだけでなく、滞留時間を長くして行く仕組みづくりが必要。済生館や文翔館など他の施設へも足を運べるように工夫して行かなければならない。観光客は当初想定していたより多い。一過性にならないように改善するものは改善して行かなければならない。

#### 【委員】

- ・今から30年近く前、全市町村の教育委員会の協力で県内の蔵を全てマッピングし見て回った。せっかく作り上げた資料なので、ぜひ県としても活用していただきたい。
- ・木造に関して制限が多い。昔は3階くらいの旅館、ホテルはあった。2階3階建てくらいは消防法で制限しないでほしい。木は無垢であればそんなに燃えない。国交省へのお願いとして、木材を使いやすい社会の仕組みをつくって欲しい。

#### 【委員】

- ・消防法を変えるためには実験をして、裏づけを取らなければならない。
- ・安全性が確認できれば、変えられるのではないかな。

#### 【委員】

- ・耐火性のある柱の開発を進めている。
- ・来年くらいには梁など他の部材にも目処が立つ。全国に技術を共有する。

#### 【委員】

- ・木造はかつて2階建てまでしか認められていなかったが、技術の進歩に従って法律が追いついてきて、3階建てまで可能になった。それと同じような道筋を辿ればよいのではないかな。火災についても問題ないということが明らかになれば、法律改正に繋げられるのではないかな。
- ・古い密集市街地の問題もある。燃えやすい建物が密集し、1件の火災が大規模な災害に繋がるという街づくりの問題も解決していかなければならない。

#### 【委員】

- ・林業は下草刈りや枝打ちなど手間がかかる。将来大きくなったら金になるという思いもあって、山に杉をたくさん植えた。昔は学校林があり児童は植林に手を貸していた。植林についても児童が関心をもって作業して行けるような仕組みを考えて行かなければならないのではないかな。

#### 【委員】

- ・日本の森林は戦後いっせいに植林され、それがいっせいに成熟している。いっぺんに伐採するのではなく、持続のためのバランスをとるのがポイント。ひとり一人の山林農家が考えるのではなく、社会で考えて行く必要がある。ドイツでは山林は社会で守っている。日本に会うような形で森を守って行く工夫を考えて行かなければならない。
- ・もうひとつは、補助金をあてにしないで地域でそれに相当するものをどうやって行くかという仕組みを考えて行かなければならない。社会の意識作りも大事。街づくりはそこに住んでいる人だけでなく、そこに直接かかわりの無い人たちにもメリットがあるということはどう広めて行くかがポイント。イタリアや奈良のような誇りのもてる地域にするためには歴史、芸術、文化ではないかな。ただ、木造を作るだけではなく、芸術や文化的な要素を入れるのがポイントではないかな。

#### 【ゲスト】

- ・市内には多くの蔵がある。我が家にも土蔵があり、豆蔵はレストランとして利用している。
- ・蔵は、わが家の蔵、活用している蔵、活用したい蔵、壊したい蔵の4つに分類できると思う。土蔵の活用が一気に広まってきたきっかけは、芸工大の蔵プロジェクトで学生が蔵の掃除を行い、活用を始めたことだったように思う。
- ・手前どもの店舗の話になるが、国道112号の拡幅工事で店舗を6mカットすることになった。店舗正面からの景観が変わってしまうのではないかと悩んだが、柱一本一本にナンバリングをして復元をし、大きさは変わったが正面からの景観は元通りになった。今では大きさもあると思うが、こうした建物は現在では不適格ということで建てられないということだった。何かのきっかけで壊した跡に、また同じようなものを建てられない。保全できないというのが問題ではないかと思う。
- ・地図を作ったきっかけは、山形市内の点を線で結んで多くの人を回遊させ、賑わいを作りたいと思ったから。盃山と千歳山が一枚に納まっている地図は無い。馬見ヶ崎川の扇状地に市街地があるというのがわかる。また、高さがわかるよう等高線を入れた。

- ・メインストリートの七日町、十日町の通りは高低さが少ない場所に築かれている。町民の暮らしに配慮した街づくりがなされていた。
- ・教育資料館などの昔からの洋風木造建築の痛みが懸念される。修復、修繕、保全が必要。
- ・この地図はどんどん改定を行って行く。記載しているコースについても新名所や2時間で見られるコースなど、ニーズとともに改定していく。この地図が市民の方や訪れる方に喜んでいただけるような、また、そのような町になっていける一助になればと思う。

#### 【委員】

- ・山形で残念なことは人々が歩かないこと。仙台に行くときたくさんの人が歩いている。歩いて山形のよさを知って欲しい。
- ・点を線にしていくことも重要。御殿堰の再生をモデルとして、時間がかかることだと思うが隣にもどんどん波及して行くことを期待したい。
- ・文翔館があるから明治と思ったら御殿堰は江戸。行政で協議してコンセプトをはっきりして欲しい。

#### 【ゲスト】

- ・観光協会では大変苦労した末、明治・大正・昭和の交差する町と表現している。地域ごとに、歴史背景が違う。全体的に見ると理解してもらえる部分もあると思う。
- ・外向けには、街に迎え入れる体制をつくらなければならないが、確かにそこは明確に言えない部分。
- ・1時間、2時間歩いてみようかという人が増えている。名所を案内するこの地図は役立つ。
- ・ただ、人口の問題もあると思うが仙台に比べるとまだまだ少ない。まだまだ、地方都市を見て歩こうという人を掘り起こすことは可能だと思う。

#### 【委員】

- ・七日町、十日町に立派な庭があれば、売りにして、それも案内してはどうか。

#### 【ゲスト】

- ・営業スペースや車両スペースを確保するため、だいが庭はなくなっている。
- ・保全するにもだいが経費がかかる。よほどゆとりがないと維持は難しいのではないかと。
- ・庭は大変だが、花笠まつりの昼間の時間に、うちの中にある宝物を店先に展示するのも面白いのではないかとと思うが、その仕掛けをどうするかが難しい。

#### 【委員】

- ・この会議では、できれば将来、県内だけでなく、日本の環境問題も含めて、地元で裏づけをとり、国を動かすくらいの提言ができればよいと思う。地元でというどういう方向でやって行くか具体策を導き出したい。本日はありがとうございました。